

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月18日		記入者		内線	3173
部 名	環境保全部	課 名	みどり対策課		課長名	柳川 勝
事務事業名	市民ふれあいの森づくり事業					
予算上の事務事業名	市民ふれあいの森づくり事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	22310		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして					
政 策 名	第2章 水やみどりの保全と創造に努めます					
基本施策名	第3節 みどりの保全と創造					事業開始年度
施 策 名	第1施策 みどりの保全と拠点づくりの推進					平成元年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
都市緑地法						
ふれあいの森実施要領						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	さがみはら・みどりの基本計画		良好な生活環境の形成を図るため、市域の緑地保全と緑化推進に係る施策等について、総合的に計画するもの。平成9年3月策定			
計画年次	平成9	年度～	平成27	年度		
4 事業形態の区分			維持・管理・補修	▼		
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)						(2) 対象(誰、何)
市街地内の特に良好な一定規模以上の樹林地について、都市緑地法に基づく市民緑地の指定を推進し、緑地保全を図るとともに林床整備や散策路整備等を行い、市民が自然観察など直接的に"みどり"とふれあう機会を提供することにより、"みどり"に対する愛着心や意識啓発等の場として活用を図る。また、「街美化アダプト制度」を活用して、緑地保全活動など、市民の自発的な取組みの推進を図る。					・市民緑地等の緑地...16箇所(79,543㎡) ・街美化アダプト活動団体数...14団体	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「街美化アダプト制度」に基づく既存活動団体に対して、ボランティア保険への加入及び活動支援費を支給。 ・「古淵1丁目市民緑地」の新規指定(面積0.5㍓タール) ・地元自治会及びボランティア団体との緑地管理に係る調整。 					
6 関連・類似事業や他市の状況						
7 事業費の推移						[単位:千円]
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	0	871	1,577	1,085	1,085	
一般財源	0	858	1,564	1,071	1,071	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	13	13	14	14	
人件費の合計	0	8,010	8,070	8,070	8,070	
事業コスト合計(a)	0	8,881	9,647	9,155	9,155	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	街美化アダプト活動支援費			対象名称(単位)	市民活動団体数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	0	858	1,564	1,071	1,200	
対象数	0	12	12	14	15	
単位あたり経費(円)		71,500	130,333	76,500	80,000	
前年度比			1.82	0.59	1.05	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	活動対象緑地面積		指標式と指標の説明	市民緑地等の市管理緑地面積	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績		67,640.0	69,240.0		
目標		68,000.0	69,000.0	70,000.0	70,000.0
目標達成度		0.99	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	市民活動度(%)		指標式と指標の説明	平成15年度の活動団体数を基準として、活動団体数の増加率から市民活動の広がりを把握する。	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	12.0	12.0		
目標	0.0	12.0	13.0	14.0	15.0
目標達成度		100.0	92.3		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業			
	[] : 概ね良好な状況である事業			
	[] : 見直しを行う必要がある事業			
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		市民緑地の新規指定などの取組みを進め、活動対象地の拡充と活動団体数の増加に努めていく必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
			<ul style="list-style-type: none"> 市民活動範囲の明確化。 市民緑地の新規指定についての方針等を整理する。 		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			